

正式組織名称	旭硝子株式会社 モノづくり・人づくり推進室
場所とアクセス	AGCモノづくり研修センター（2006年 開設） JR 鶴見線弁天橋駅徒歩1分（横浜市鶴見区弁天町2番地）
展示および体感内容	<p>FAITES 『Failure Teaches Success』 HALL（2012年6月オープン）</p> <p>スローガン 失敗は成功の母</p> <p>失敗は財産：学びの場、風土を作る</p> <p>巻き込まれた設備の「実物大の模型」と</p> <p>「対策後の縮小模型：カバーをメッシュ化で見える化」を設置 （設備掃除中の協力会社社員が見えないギアに巻き込まれた事例）</p> <div data-bbox="464 719 999 1106" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1007 875 1386 949" data-label="Caption"> <p>失敗展示・導入ゾーン</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クローズアップ（接近する）パネル ・ガイダンス（理解する）パネル ・問いかけ（考える・共有する）パネル <p>どうすれば問題が発生しなかったかを考える。 言い訳から考える。言い訳から真の原因が明らかになる。 いかに言い訳を出すかが重要。 他に2事例の展示が有るが、時間がなく説明は省略。</p> <p>体験コーナー</p>



危険体感
挟まれ・巻き込まれ

挟まれ・巻き込まれ

段ボール（疑似手）のローラーへの挟まれ
Vベルトへの棒（疑似手）の巻き込まれ
ギアへの割り箸（疑似手）の巻き込まれ
電流値と感電感覚の体感

安全パトロール実習



安全パトロールモデル設備



安全パトロールモデル設備

管理者が現場の不安全状態に気が付かない（指摘できない）ことに問題を感じて開始。

・機械系災害ゾーン（44か所の指摘ポイント）、

- ・電気系災害ゾーン（33か所の指摘ポイント）
- ・高所系災害ゾーン（32か所の指摘ポイント）

トータル109の指摘ポイント

5-6人/1グループで 1ゾーン15分で指摘ポイントを探す。

指摘ポイントをポイント記録用紙に書き込んでいく。

現場管理職はすべてトレーニング完了。

電気事故体験



危険体感・電気（漏電）

（東京都の火災の50-60件/年はコンセントからの発火）
 コンセントのごみ付による発火（アツという間に発火）の体験。
 漏電による感電事故防止対策の重要性を体験。

漏電ブレーカーを設置すれば漏電があれば電源が落ちる。

アースが有れば、漏電が有っても感電しない。

五感体験コーナー



五感体感コーナー

五感（厚み、太さ、臭い、スピード {温度判定}、音）をテスト
 70点以上を合格としているが、1回目では50人に1人程度しか合格
 しないとの事。

	<p>教育スタッフ人数 20名</p> <p>トレーニング効果の確認</p> <p>トレーニング後1~3ヶ月経過した時に、本人や職場のリーダーに確認。</p> <p>見学者全員に機密保持契約書提出を求め、写真撮影も不可。</p> <p>セキュリティ管理も確実にされていた。</p>
ここがお勧め！	<ul style="list-style-type: none"> ・現場安全パトロール実習は、他に例がない取組。マネージャーが中々現場に行けない、現場の危険に対する感性の低下に対応するための処置として大変効果的と思われる。 ・どうすれば起きなかったかを考える場合「言い訳から考える。」 「言い訳から真の原因を明らかにする。」という取組は大変良い。
感想など	<p>AGCモノづくり研修センターが出来てから、各事業所のマネージャー全員が参加しており、安全に大変、力を入れていることが伝わってきた。国内での死亡災害は最近発生しておらず、怪我也減少しており、この活動で安全に対する感性を高めたことが成果につながっている。</p>
公開状況	<p>社員教育用であり、一般の研修は受け入れていない。</p>
見学記録 作成者名と日付	<p>中山安弘 中田邦臣</p> <p>2015年1月20日 記</p>